

PHJ NEWSLETTER

ピープルズ・ホープ・ジャパン
ニュースレター

2021.6
No.87

巻頭・海外事業

カンボジア 医療者の知識・技術を高めつづける

ミャンマー 混乱が続くなかで

CONTENTS

国内事業

南相馬心療カウンセリング支援
震災後10年が経過して

支援企業訪問

企業の成長と社会貢献を両立する
「1-1-1モデル」
株式会社セールスフォースドット・コム



カンボジア事業地内の保健センターで産後ケアサービスを提供するスタッフと監督者

PHJお知らせ掲示板

アイロボットジャパンが東京都病院協会へ 掃除ロボット 550台寄贈

新型コロナウイルス感染拡大の中で尽力されている医療従事者を応援するため、アイロボットジャパン合同会社(代表執行役員社長 挽野元、以下アイロボットジャパン)はPHJを通して東京都病院協会に、床拭きロボット「ブラーバ ジェット®m6」の限定モデルを100台と、ロボット掃除機「ルンバ」450台を寄贈し、さらにこの製品の売上の一部を新型コロナウイルスと闘う全国の医療従事者や医療施設に寄付することとなりました。

3月23日に寄贈式が都内で行われ、アイロボットジャパン代表執行役員社長 挽野元氏、東京都病院協会会長 猪口正孝氏、PHJ 理事長小田晋吾が参加しました。寄贈されたブラーバは病院内の待合室や更衣室などで早速活用される予定との報告があり、以下のようなコメントをいただきました。「院内の掃除は課題です。今回、医療従事者や医療施設を支援する特別なブラーバを、最初に病院で使わせていただけることをありがとうございます。今後もコロナ禍の闘いは続きますが、今回の寄贈をひとつの光明として頑張っています」



左から挽野社長、猪口会長、小田理事長



床拭きロボット「ブラーバ ジェット® m6」の限定モデル

成田コスモポリタンロータリークラブによる 産後の母子ケア支援 寄贈式開催



日本側の寄贈式会場：ホテル日航成田

4月7日ホテル日航成田にて、成田コスモポリタンロータリークラブ(以下、成田コスモポリタンRC)のご支援によるカンボジアの産後の母子ケア支援プロジェクトのZOOMによるオンライン寄贈式を開催しました。日本側の会場には成田コスモポリタンRCの藤崎政弘会長、神谷修一国際奉仕委員長、そしてクラブのメンバーの皆様、カンボジア側では現地カウンターパートとなるストゥントロン保健行政区スタッフ Mr.Phai Vichet、コンボンチャム州保健局 母子保健部 部長補佐スタッフ Ms.Penh Sokunthy に出席いただきました。オンラインによる寄贈式は初めての試みでしたが、日本とカンボジアの画面を隣り合わせにしてあたたかも日本からカンボジアへ寄贈品を手渡しているかのような演出や、映像での活動報告など、オンラインならではの利点を生かした寄贈式を開催できました。

クラウドファンディング無事終了! ご協力ありがとうございました。

2020年12月15日から2021年2月15日までの期間で実施した「産後のお母さんと赤ちゃんが安心・安全に過ごせる診療所を。」のクラウドファンディングが目標116万円を上回る132万2000円が集まり、無事終了いたしました。皆様の温かいご支援・ご協力心より感謝いたします。今回いただいた皆様のご支援で、PHJのカンボジア事業地内の3診療所(保健センター)の産後ケア室の設備支援とクボッタゴン保健センターの入り口道路の修繕工事が無事完了いたしました。



編集後記

世の中の社会課題を認識することが、社会貢献活動のスタート、とのことを(株)セールスフォース・ドットコム取材で伺いました。より多くの人にPHJが取り組んでいる社会課題について知っていただく機会をこれからもたくさん作れたら、と思いました。

発行：特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパン

発行責任者：神谷洋平 編集人：南部道子 発行日：2021年6月15日

連絡先：〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32 TEL:0422-52-5507 FAX:0422-52-7035

ホームページ：https://www.ph-japan.org/

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

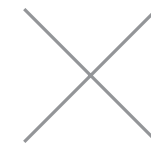


妊婦健診のモニタリング



産後検診のモニタリング

Cambodia



Japan

医療者の知識・技術を高めつづける

PHJの使命は「教育を中心とした自立支援」です。患者さんに適切な医療サービスを提供するために重要な、医療者の知識や技術。医療環境に様々な課題を抱えるカンボジアで、よりよい保健サービスの提供のために、現地の医療者の知識の向上や技術の改善に向けて、PHJがどのような支援をしているか紹介します。



3 評価の標準化

標準化されたチェックリストをもとに客観的な視点で技術を評価します。監督者が代わった場合にも、同じ基準でモニタリングを継続することができます。

習得した技術が定着しているかを臨床現場である保健センターで定期的にモニタリングします。実践的かつ具体的なアドバイスを繰り返して受けることで、技術を着実に身に付け、継続的に向上させることが期待できます。

2 臨床現場で定期的に繰り返し実施



1 指示や指摘で終わらず改善策を提案

監督者は、改善が必要な課題を見つけた場合、一方的に指摘するのではなく、改善のための具体的な対策を共に考えます。現場の医療者との信頼関係を構築しながら、医療者が主体的に技術の向上に取り組むことができるようにサポートします。

PHJの技術向上促進のポイント

PHJは研修後の継続的な知識・技術の向上を目指しています

1回限りの集合研修では、その場では知識を理解し、技術を身につけることができますが、学んだ知識や習得した技術を実践に活かし、定着させ、さらに向上させることは困難です。そこで、PHJでは、集合研修の実施で終わらせることなく、研修後の技術向上促進にも取り組み、現場で直面する課題を整理・認識しながら、個々の医療者がさらに意欲的・積極的・主体的に技術の向上を目指すようなサポートを行っています。この取り組みは、WHOの「サポートティブ・スーパービジョン」と共通性の高い取り組みです。

カンボジアの医療者の知識・技術の課題

現在、PHJはカンボジアのコンポンチャム州の農村地で産後の母の健康と子どもの成長促進を中心とした支援活動を実施しています。なかでも地域住民に最も身近な医療機関である保健センターで、医療者が提供する保健サービスの質の向上が重要です。しかし、医療者の資格習得後の卒後研修の機会が限られている、また実施された場合もその後のフォローアップが不十分、標準化された評価基準が整備されていないなどの課題が指摘されています。

Q. その効果は？

医療者は

A. 医療者としての自信が付き、来院者の評判も良好



アレアックノー保健センター 看護師 Cさん

学校で資格を取得し仕事を始めてからは研修などを受ける機会がありませんでしたが、現在は保健行政区のスタッフが毎月保健センターを訪問し、指導してくれるので、知識の向上と技術の改善がはかられるうえ、医療者としての自信にもつながっています。この技術向上促進の取り組みでは、実際に診察している隣でモニタリングし、すぐにフィードバックしてくれます。これを受け始めてから、来院するお母さんや子どもへの私の対応も変わってきました。モニタリングを受ける前はお母さんに産後ケアについてどのように説明すべきかわからず、産後健診でフリップチャートを使った保健教育をしたことがありませんでした。今では多くのお母さんから「説明がわかりやすい」と言われています。

乳幼児の発達の基本知識を伝える医療者と監督者



乳幼児の発達の基本知識を伝える医療者と監督者



監督者は

A. 精神面でのケアも指導し、コミュニティ全体の健康意識向上へ

この技術向上促進の取り組みでは、医療者ガイドラインに沿ったケアを適切に行っているかどうかを確認しています。以前は、改善が必要な部分を指摘するだけでしたが、今では知識の補足や共有をするようになりました。現在特に力を入れているのは、来院者に対するホスピタリティです。また、健診に来るお母さんたちに母親として自信を持てるようなカウンセリングの仕方なども指導しています。そういった意味では、保健センタースタッフの能力強化だけでなく、村人の健康に対する意識、さらには自尊心の向上にも貢献しているのではないのでしょうか。



ストゥントロン保健行政区 母子保健担当 Oさん

Myanmar

混乱が続くなかで

ミャンマーで2月1日に非常事態が宣言されてから現在まで、国内では混乱が続いています。少数民族も含め生活は一変し、人々はとても困難な状況におかれています。日々、このような事態を目にするたびに心が痛み、現地事務所のスタッフやカウンターパートのみなさんの安否が心配でなりません。



PHJ ミャンマー事務所長 蓮井頼子

市民生活にも大きな影響が出ています。ほとんどのインターネットサービスが遮断され、以前のようにインターネット経由で連絡を取ることが困難になっています。加えて、不安定な治安や経済活動の停滞による物価の上昇など、市民の基本的な生活が大きな影響を受けています。現在、ミャンマー事務所では、事業の活動を一時見合わせていますが、現地スタッフは在宅で勤務をしており、毎日の安否確認とコミュニケーションを欠かさず行っています。

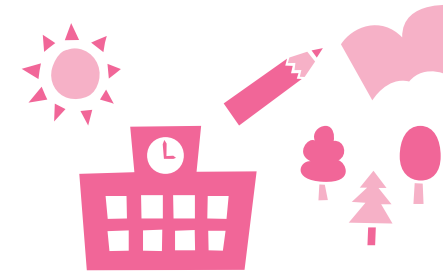
公務員や医療従事者が国軍への抗議の意思を示すために CDM (市民的不服従運動)に参加していることをご存知の方も多いかと思いますが、PHJ の事業地であるネブドー特別行政区レウェイ郡も例外ではなく、その動きは広がっています。公立病院の医師を始め、地域保健センターやサブセンターに勤務する医療者が CDM に参加しています。そのため、半数以上の医療従事者が不在となり、人々が適切な医療サービスを受けられない事態に陥っています。それは、妊婦や赤ちゃんにも深刻に影響しており、妊婦健診、産後健診や必要な予防接種を受けられなかったり、リスクの高い妊婦を病院に照会できないといったケースが報告されています。また、助産師が CDM に参加しているために不在となっている地域では、自宅出産を選択する妊婦が大幅に増えており、安全で衛生的な環境での出産が難しくなっています。お母さんと赤ちゃんの健康を支えるため、また、救える命を救うために、PHJ は可能な限り支援を行っていきます。

先が見通せない状況が続きますが、現地スタッフと事業関係者の安全を最優先し、今後も現地情勢を注視しつつ事業を継続してまいります。皆様からの深いご理解と継続的なご支援に心から感謝申し上げます。



現在ミャンマーでは大きな混乱が続いている中でも、上の写真のように人々の暮らしは続いています。PHJ はミャンマーの人々がこれからも日々健やかに過ごせることを願っています。

Cambodia

小学校にてSDGs
青空教室を開催しました。

2021年1月に事業地の一つであるピナムゴッスナー区の一つ・ネング小学校でSDGsの講義を行いました。このイベントは日本生命保険相互会社様よりSDGsのペンを寄贈いただいたことをきっかけに、カンボジアの小学生にSDGsについて学ぶ機会をつくろうとPHJカンボジア事務所が企画・開催したものです。当日はPHJスタッフがファシリテーターとなり、教室の外でSDGsの講義を始めました。「すべての国が一丸となり、世界をよい場所に、人々を幸せにするために色々と取り組んでい

ます。この中で世界をよくしたい人はいますか？人を幸せにしたい人はいますか？」という問いかけから、17のSDGsゴールを模造紙で説明しました。その後各児童に自分の意見や、賛同、そして未来にどう行動していくかなどの意気込みを発表してもらいました。SDGsのゴール達成には先進国が発展途上国を援助をするだけでなく、各国の自助努力も必要とされています。カンボジアの小学生がSDGsについて主体的に考え行動するきっかけになればと思います。



こんにちは！
PHJスタッフ

PHJ カンボジア事務所
プロジェクト・マネージャー
奥本達彦

Q1：自己紹介をお願いします。

はじめまして、カンボジア在住6年目になりました、奥本達彦です。日本では消防士として、カンボジアではマイクロ保険事業の立ち上げや、教育開発をしておりました。よろしくお願いします。

Q2：カンボジアの好きなところは？

人がすごく温かいところです。どこに行っても、目が合えば微笑み、気軽に酒盛りに誘ってくれます。色々悲しいことやストレスがたまることがあっても、みんなで笑って飲んで、次の日には忘れていきますね。



PHJ カンボジア事務所スタッフとともに。

Q3：印象的あるいは困難だった経験があれば教えてください。

滞在先がなく困っていた外国人たちを助けるため、彼らに寝る場所を提供していました。そうすると、自分の寝るスペースのことを忘れていて、数年間トイレで生活していました。でも、今思えば、困難というより、誰もができない面白い体験だったかもしれません。消防士で学んだのは、どんな困難な場所でも生きていく、ということだったのでしょうか。

Q4：PHJで働くなかで達成したい目標や夢を教えてください。

住民の皆さんと一緒に、1人でも多くの命を守り、育てていきたいです。将来のカンボジアを担っていくような人たちの、未来を創っていくという尊い仕事に、誇りをもって取り組んでいきたいと思っています。

南相馬心療カウンセリング支援

■事業計画の一部変更のお知らせ

事業計画・内容を一部見直ししました。事業目標であった3年間で自立可能な心療カウンセリング施設の設定を目指すのですが、自立可能な施設を設立するためのハードルは高く、3年事業の中では達成が難しいことが分かりました。そのため、2020年7月から、新しい施設の基礎固めを進めることを目標に、心療カウンセリングの実績を積み上げ、事業目的である東日本大震災と原子力発電所事故による二重の被災地となった南相馬地域の人々の抱える精神的負担の軽減に寄与することを目指します。

2021年3月末で後期事業の半分が経過し、堀先生によるPTSDに対する認知行動療法であるPE法、榊原先生による家族関係の調整を含んだカウンセリング、高橋先生による発達障害等の患者さんの正確な評価のための心理検査を実施しています。事業の最後となる今年も、ここまで積み上げてきたものを確実に継続するのとともに、

地域社会に対してPTSDとその治療を中心に啓発活動、たとえば心のケアに関する研修の講師を行っていくことにも取り組んでいます。本事業を担当されているほりメンタルクリニックの堀院長の報告を掲載します。



地域でのメンタルヘルス関連の研修会

■震災後10年が経過して

2021年2月13日の夜23時過ぎに、福島県沖を震源としたマグニチュード7.3の地震が発生しました。幸い南相馬市にあったほりメンタルクリニックの被害はほとんどなかったのですが、震源地に近い新地町の職員の自宅などは建物や物品の一部損壊も発生しました。やはりこの地震で、2011年の東日本大震災・原発事故に関するトラウマを、苦しい形で思い出される方がおられました。

また、2021年3月11日で震災後10年を経過しました。その機にさまざまな報道がなされましたが、現地の人の気持ちに響くことは少なく、やはり「震災のことを思い出してつらくなるので、なるべくそのようなニュースは見ないようにしている」という方が多かったです。クリニックの臨床の現場では、震災のトラウマに、それ以前の生活の状況、さらに震災後10年で生じた出来事が複雑に絡み合い、なかには生育時の状況にまでさかのぼって解きほぐすことが必要な症例が増えてきた印象です。もともと、そのようなニーズは存在していたのですが、その問題にまで取り組むことができるようになったと言えるのかもしれません。学術的にしっかりとした基盤のあるアプローチを継続的に実施し、それを発展させていく仕組みが必要だと考えています。(ほりメンタルクリニック 堀院長)

支援企業訪問

企業の成長と社会貢献を両立する「1-1-1モデル」

株式会社セールスフォース・ドットコム



PHJで広報誌の封入ボランティアを担当されたセールスフォース・ドットコムの従業員の方



企業向けクラウドコンピューティングのパイオニアであり、社会貢献分野でも革新的な株式会社セールスフォース・ドットコム。PHJは賛助会費、従業員の方のボランティア、非営利団体向けセールスフォースの寄贈など、さまざまな形でサポートを受けています。多くの企業がお手本とする社会貢献モデルについて伺いました。



Salesforce.org ディレクター 松山亜紀 様

さまざまなステークホルダーへの社会貢献

「ビジネスは世界を変える最良のプラットフォーム」。創業時からマーク・ベニオフ会長兼 CEO (最高経営責任者)はこの言葉を諷し、社会貢献に取り組んできました。2020年のダボス会議でもステークホルダーキャピタリズムという言葉が目目されましたが、私たちは株主だけでなくお客様、パートナー、さらには地球もステークホルダーととらえ、助成金などの慈善事業、ボランティアやプロボノなどの人を通じた支援、地球環境に関する貢献、教育機関や非営利団体への製品を通じた支援を行なっています。

「1-1-1モデル」という統合的な社会貢献活動

社会貢献の取り組みとしては、統合的な社会貢献モデル「1-1-1モデル」を確立し、就業時間の1%、株式の1%、製品の1%を社会に提供しています。従業員一人につき年間56時間を就業時間内に社会貢献に使ってもらうため、社内でボランティア情報の発信や共有も積極的に行っています。ボランティアの参加率は、オンラインのみに活動が制限されたコロナ禍中でも76% (コロナ禍前は90%)でした。トップのコミットメントや企業文化もありますが、オンラインのみの業務で社員同士が気軽に話せる機会がなくなるなかで、ボランティア活動が社内の一つのコミュニケーションの場になっているようです。



ひとり親家庭向けのクリスマスカード準備

社会課題を知り、意識が変わる機会となる

世の中の社会課題を認識することが、社会貢献活動のスタートだと考えております。ピープルズ・ホープ・ジャパンへのボランティアとしては、これまで述べ63名の社員が229時間広報誌の発送作業を行いました。(2021年5月現在)こうした活動を通して従業員が普段触れることのない途上国の課題を知り、考え、意識を変える機会をいただいていることに感謝しております。

インタビューを終えて

「ボランティア活動が社会貢献にとどまらず、社内のコミュニケーションの促進やチームビルディングに役立っているというお話が印象的でした。このような社会貢献の仕組みが社会全体に広がってほしいと感じました。」

後期事業の計画・実績

	2020年7月～2021年12月 (18ヶ月計画)	2020年7月～2021年3月 (9ヶ月実績)
心療検査 (高橋先生)	72件	60件
心療カウンセリング (榊原先生)	432件	143件
認知行動療法 (堀先生)	78件	95件
支出合計	720万円	372万円